

交換留学帰国報告書

記入 | 2019 年 12 月
所属 & 学年 | 法学部 4 年
卒業予定 | 2021 年 3 月

留学先大学	ニューサウスウェールズ大学
留学先国	オーストラリア
留学期間	約 10 ヶ月 (4 年次に留学)
留学開始 - 終了	2019 年 2 月 11 日 - 2019 年 12 月 11 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

- ① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

オーストラリアの教育の質の高さとシドニーでの生活に魅力を感じ、関心のある分野の講義が多く揃った英語圏におけるレベルの高い大学であったため。

- ② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

もとより海外に興味関心が強く、大学に入学した頃から何等かの形で留学したいと考えていたところ、長期の交換留学が自身の目的に沿うと考え志望した。

- ③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
ベトナム	学部一年次	短期研修、10 日間。
イギリス	学部二年次	短期研修、2 週間。

- ④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

応募の一年程前から語学試験の対策を行い、半年程前に志望大学を決定した。

- ⑤ 海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

2 回程度。留学先の候補として考えていた国や大学に関連した情報を得ることができ、派遣先大学を決定する際に参考となった。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

- ① 留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

IELTS を 4 回受験した。スピーキングに重点を置いて対策した。

- ② 単位取得、単位互換、教職履修などに関してのアドバイスをお願いします。

派遣先大学での単位の取得は、一つ一つの課題で求められていることにきちんと応えることが大切だと感じた。単位互換などは考えていない。

C. 授業や勉強について

- ①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

・ ARTS 1211 Australia's Asian Context : 豪州とアジア（多文化主義、移民政策など）
 ・ GENL2021 Introduction to the Australian Legal System : 豪州の司法制度（基礎）
 ・ TABL 1710 Business and the Law : 豪州の私法（契約、不法行為、知的財産など）ほか

1つの科目につき、毎週、講義（1.5～2 時間）とチュートリアル（1～2 時間）の組み合わせにより行われた。チュートリアルでは、授業やリーディングの内容についてグループになり議論をしたり、事例を考えたりした。

- ②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

講義内容の理解を深め、チュートリアルでの議論に参加できるよう、予習に重点を置いた。参考文献を読む際には、分からない単語等を明らかにすること、また、要点と事例を把握し、関連する内容を整理しておくことを心がけた。

- ③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

参考文献の量の多さと内容の難しさに非常に苦労したが、数をこなすことにより次第に要領をつかんで読めるようになった。エッセイなどの課題や試験に関する疑問点などは、友人に質問したり、添削を頼んだりするなどして解決した。

D. 大学生活について教えてください。

- ①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

教育の質が非常に高く、多様な情報や知識、議論を様々な媒体を通して提供しており、課題等の Feedback が丁寧になされている。学生は学業に熱心に取り組む一方、学生主体の活動（クラブ、学内イベント、パーティーなど）に対しても積極的である。様々なバックグラウンドを持つ学生が国内外から集まっており、国際色豊かで活気溢れる大学である。

- ②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

キャンパスは緑豊かで新しく非常に快適で、ネット環境や学内設備も充実している。キャンパス内に学生寮、銀行、郵便局、医療センター、飲食店、コンビニ等が揃い、利便性もよい。

- ③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

同じ寮や同じ講義の学生と、一緒に食事をしたり勉強をしたり、出掛けたりすることにより交流を深めた。また、日本に興味のある学生や日本語を勉強している学生とは、お互いに文化や言語を教え合うことにより、一層仲を深めることができた。

- ④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

基本的には、友人と寮でご飯やスイーツを作ったり、大学周辺や市内を散策したり、イベントなどに参加して余暇を過ごした。長期休暇には、他の都市やニュージーランドへ旅行した。

E. 健康管理、保険、予防接種など

- ①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

健康管理に関しては、一日の中の激しい気温の変化に合わせた適切な衣服の調整と、強い紫外線による日焼け対策を心がけていた。

- ②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えて下さい。

特になし。

- ③加入した保険の種類について教えてください。

☐ 留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

☐ 個人の保険のみ

☒ キャンパス保険と個人の保険の二重加入

- ④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

☐ はい（種類：）

☒ いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

- ①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

- ②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

人によっては宗教などの理由で食べられない食品があったため、一緒に食事を作るときは使用する食材に注意した。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

薬類、文房具など自身のこだわりのあるものは持参するとよいと思った。一方、大抵の日本の食品はアジア系の店で簡単に手に入るため持参する必要はなかった。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

「地球の歩き方 シドニー & メルボルン」地球の歩き方編集室

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

寮費が非常に高いため、友人と自炊をして食材や調理器具を共有するなどして食費や生活費を抑えるようにした。

- ②奨学金はもらっていましたか？

☒ はい （奨学金名：JASSO 奨学金 支給額： 月 7 万円）

☐ いいえ

- ③差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	10 万円	
保険代	20 万円	

住居費	月 12 万円	
食費	月 3 ～ 4 万円	外食の頻度による
教科書代	2 万円	

F. 今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☐進学

☒就職

☐その他（ ）

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

専門を活かし、国際的に働くという目標に留学前後で変化はないが、留学中の経験や人との出会いにより、目標に照らして自身をじっくりと見つめ直すことができ、新たな課題や今後取り組みたい事柄が明確になったといえる。

③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

特になし。

F. 留学を終えて感じること

①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

かけがえのない友人ができ、充実した時間を過ごすことができたことが、最も嬉しく心に残っている。初めての環境での生活とハードな勉学を乗り越えたことで一定の達成感と自信を得るとともに、新たな知見を得る有意義な経験が多くできたことに感謝している。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

留学全体を通して日本人としてのアイデンティティが基礎にあることに改めて気づかれ、また、周りの学生との交流から人との関わり方や将来に関して自分の在り方を考えることにつながった。特に、多様な人が集まるグローバルな環境において、自身の個性や日本人としてのアイデンティティをもってどのように人間関係を築きどう行動するのか、試行錯誤して悩むことも多かったが自分なりの答えを見つけることができたように思う。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

留学では悩み大変だと感じることもありますが、それを乗り越えた経験は今後の糧になると思います。そのときそこでしか味わうことのできない経験と出会いを大切にぜひ充実した留学生活を送ってください。

以上